

ONKAN 音楽科教育セミナー 2025

大田区民センター アプリコ 小ホール
2025年8月18日(月) 10:00～16:00

鑑賞領域を中心に、さまざまなアプローチにより音楽の授業づくりについて楽しく考えるセミナーです。今年度は大田区民センターにて、参加者全員で全てのプログラムを一斉に受講しました。

講演：鑑賞における「深い学び」を考える

講師：河合紳和（文部科学省教科調査官）

【講演内容】 1. 「指導と評価の一体化」の実現に向けて 2. 鑑賞における指導と評価

「指導と評価」について、学習指導要領の内容の復習をはじめ、指導と評価のポイントや授業での具体的な事例を示していただきました。

【アンケートより】

- ・ 指導と評価の一体化の具体について、改めて学ぶことができました。その実現に向けて、幅広い活動を通して相互に関わらせることを見直したいです。
- ・ 小 中 高校の鑑賞の評価の系統性がわかりました。どんなポイントに気を付けて指導をすればよいか具体的な事例を踏まえて説明してくださったので分かりやすかったです。



鑑賞の授業づくり講座：考えよう！学習評価～鑑賞授業の評価方法や見取り方～

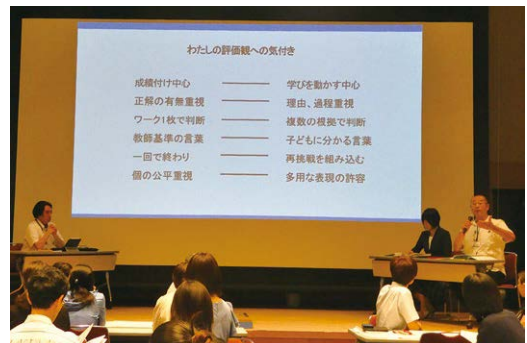
講師：館 雅之（神奈川県横浜市立太尾小学校校長）／

清水達也（東京都港区立麻布小学校指導教諭）／安部文江（長野県小諸市立小諸東中学校教諭）

【講座の内容】 1. 小学校の事例紹介 2. 中学校の事例紹介 3. 鼎談：子どもの記述から評価について考える 4. グループワーク 5. 振り返り、まとめ

音鑑の研究委員が講師となって、授業づくりについて考えました。

参加された先生方は校種ごとに分かれずに、小学校の事例紹介、中学校の事例紹介を全員で聞きました。また、子どもの記述内容から何をどう評価するかを考えるグループワークでも、他校種の先生方と意見を交流しました。普段、なかなか聞くことのない、他の校種の取組を知ることで、授業づくりの参考になったのではないのでしょうか。



ONKAN Information



【アンケートより】

- ・実際に体を動かしながら聴いたり、見取るポイントなどを考えたりしながら受講することができ、授業のイメージや活動の内容が具体的に分かりました。
- ・ワークショップで小中学校の先生方と意見交換できたのが、大変勉強になりました。

助成研究発表：鑑賞力を高める指導法研究～音楽作品と物語文の味わい方の共通性に着目して～

発表：西田 治（長崎教科教育研究会モデラート代表／長崎大学准教授）

2021年度 音楽鑑賞教育振興 助成研究募集に入選し、音鑑からの助成を受けて2年間研究した、その内容と成果について発表していただきました。



【アンケートより】

- ・根拠をもって、知覚したことと感受したことを関わらせていくこと、他教科や行事と関連させながら文章を書く力を育てていくことが大切だということに改めて感じました。
- ・「どう」感じたのか、問い続けることの大切さや「味わい方」のプロセスそのものや生徒がそれを理解した上で鑑賞することの大切さを感じました。

音楽講座：日本の歌曲を10倍楽しもう！～音楽の特徴と表現の工夫～

お話と演奏：小川明子（アルト）／松岡貴史（ピアノ）

日本歌曲の作曲された時代のことや、その作曲の秘話などを解説していただきながら、演奏を聴きました。



【アンケートより】

- ・歌い手とピアニスト、両方からの説明によって、聴きなれた作品の背景などを知ることができ、新たな魅力に触れることができました。
- ・文献や資料をもとに歴史的史実と合わせて歌曲を聴く、そして作曲家の視点で当時の作曲家の工夫、曲の面白さを聞く、贅沢な時間でした。